

第 108 回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

I. 日 時：2020 年 6 月 17 日（水）13 時 30 分～17 時 00 分

II. 方 法：WEB 会議（Webex 使用）

III. 出席者：飯田（東電 HD）、茂山（電中研）、西田（MHPS 長崎）、
西野（配管技術研究協会）、田村（MHPS 日立）、太原（東芝 ESS）、
服部（富士電機）、小原（IHI）、下地（沖縄電力）、坂本（関西電力）、松井（JERA）、
横山（川崎重工業）、

代理者：藤田（MHPS 長崎；豊嶋委員代理）

オブザーバー：なし

欠席者：なし

事務局：花井

IV. 配布資料

108-1 第 107 回構造分科会議事録（案）

108-2 構造分科会委員名簿

108-3 第 91 回火力専門委員会議事録（案）

108-4 第 93 回規格委員会議事録（案）

108-5 火力専門委員会書面投票 No.86（第Ⅲ章 ボイラ改定案）結果

108-6 火力専門委員会書面投票 No.87（第Ⅴ章 配管改定案）結果

108-7 用語集

108-8-1 火力専門委員会書面投票 No.86『第Ⅲ章 ボイラ 改訂案の修正案』の投票意見と対応案

108-8-2 第Ⅲ章 ボイラ 新旧対比表

108-9-1 火力専門委員会書面投票 No.87『第Ⅴ章 配管 改訂案』の投票意見と対応案

108-9-2 第Ⅴ章 配管 新旧対比表

V. 議題

1. 前回議事録確認

【資料 108-1】

前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 分科会委員・役員の承認

【資料 108-2】

服部委員の 6 月末日での退任予定、及び坂本委員の 6 月 26 日での退任予定が報告された。

また、小高氏（富士電機）、南條氏（関西電力）を新任委員候補として次回火力専門委員会へ推薦することが出席委員全員の賛成により承認された。

更に茂山委員、西野委員を再任候補として次回火力専門委員会へ推薦することが再任候補者を除く出席委員全員の賛成により承認された。

3. 報告事項

(1) 火力専門委員会報告

【資料 108-3】

4 月 21 日～28 日開催の第 91 回火力専門委員会（メール審議）の主要項目が報告された。

○新型コロナウイルスの感染拡大により、機械学会に参集をお願いしての会議ではなく、CS キャビネ

ットに予め必要な資料を登録しておき、前回議事録及び分科会委員は承認の賛否を、規格委員会報告等の報告事項に関しては、質問等を、規格に関する審議事項に関しては賛否、意見、質疑をメールにて回答する形式として実施された。

○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認

○第 107 回(2/7)構造分科会報告

質問や意見は無かったことが報告された。

○審議結果報告

- ・規格委員会書面投票 No452.(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量 改訂案) 意見対応案について承認され、意見対応を反映した修正案が文章表現上の軽微な訂正であり、且つ修正内容が適切であると全委員から承認された。
- ・規格委員会書面投票 No.427(第Ⅲ章 ボイラ 改訂案)の意見対応案及び修正点について確認頂き、提案内容の火力専門委員会書面投票実施が承認された。
- ・発電用火力設備規格詳細規定Ⅴ章配管書面投票 No.85 の意見対応に関し、意見対応を反映した修正案の火力専門委員会の書面投票実施が承認された。

(2)規格委員会報告

【資料 108-4】

5月 14 日開催の第 93 回発電用設備規格委員会(WEB 会議)の主要項目が報告された。

○火力専門委員会(4/21～4/28 メール審議)報告

○材料専門委員会状況報告

- ・2/28 に開催を予定した第 46 回材料専門委員会は延期された。
- ・5/27 に第 46 回材料専門委員会を web 会議として開催する。火力専門委員会から依頼を受けている新規材料の規格に関する検討の進め方について調整を行う予定。

○発電規格の電子配信に関する検討状況報告

- ・配信用コンテンツのうち、既発行の規格については現物を事務局がスキャンする方針が決まる。3月以降、配信予定の 46 規格の半数について作業が完了した。火力分は未着手であることが報告された。
- ・配信のスケジュールに関しては、今年度は無償での試験配信とし、有償での配信は来年度からとの方針で配信業務を委託する規格協会に連絡済み。

○火力用発電設備規格に関する審議

- ・規格委員会書面投票 No452.(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量 改訂案) 意見対応案について、意見対応案が承認され、意見対応を反映した修正案が文章表現上の軽微な訂正であり、且つ修正内容が適切であると全委員から承認された。

(3)火力専門委員会書面投票 No.86 (第Ⅲ章 ボイラ 改定案) 結果報告

【資料 108-5】

火力専門委員会書面投票 No.86「発電用火力設備規格 詳細規定(201X年版) 第Ⅲ章 ボイラ 改訂案」の承認(2020年5月2日～6月8日)に関し、投票結果の報告があった。委員総数(20名)の5分の4以上(16票以上)である20票の投票があり、本投票は成立した。投票数の3分の2以上(14票以上)である18票の賛成票があり、意見付反対票がなかったため、本議案は可決となった。保留2票

(4)火力専門委員会書面投票 No.87 (第Ⅴ章 配管 改定案) 結果報告

【資料 108-6】

火力専門委員会書面投票 No.87「発電用火力設備規格 詳細規定(201X年版) 第Ⅴ章 配管 改訂案」の承認(2020年5月2日～6月8日)に関し、投票結果の報告があった。委員

総数（20 名）の5分の4以上（16 票以上）である 20 票の投票があり、本投票は成立した。投票数の3分の2以上（14 票以上）である19 票の賛成票があり、意見付反対票がなかったため、本議案は可決となった。保留 1 票

4. 審議事項

(1)用語集の確認

【資料 108-7】

今回新規の登録は無し。

(2)火力専門委員会書面投票No.86「第三章 ボイラ 改訂案の規格委員会書面投票 No.427 の意見対応による修正案」の承認の意見対応案及び修正案（新旧対比表）審議

【資料 108-8】

資料108-8-1の意見対応案の確認・審議を行うと共に、資料108-8-2新旧対比表の作成済みの部分に関しては修正内容の確認・審議を行った。

なお、火力専門委員会書面投票No.86の意見対応と下の(3)項の火力専門委員会書面投票No.87の意見対応に関しては、どちらも完了していないのは松田委員の第三者検査員に関するものであり、意見対応のタイミングがずれてNo.87の方が1回分の意見及び対応案が少ないが、内容としては同じであり、No.86及びNo.87で残っている意見対応は1つである。

今回更々意見に対する対応案について審議を行い、『また、このISO規格の中では特段、その検査の独立性、客観性についての要求は無いことから、この件での言及は特に不要と考えますが、その確保の必要性の記載方法については今後の課題として検討して参ります。』との主査作成対応案について、「委員の意見は、『言及する必要はないか?』という確認なので、『言及する必要は無い』と回答すれば、その後の『今後の課題として検討』の記載は必要ないのではないか」という意見があり審議した結果、『～この件での言及は特に不要と考えます。』までの記載とし、松田委員に送付することとした。

その他の意見対応に関しては、基本的に意見者の意見通りに修正するものであり、新旧対比表の修正が終了していない部分は、修正の後、主査に送付することとした。

(3)詳細規定第V章 配管の火力専門委員会書面投票 No.87 の意見対応案及びこれを反映した修正案（新旧対比表）審議

【資料 108-9】

資料108-9-1の意見対応案の確認・審議を行うと共に、資料108-9-2新旧対比表の作成済みの部分に関しては修正内容の確認・審議を行った。

V章に関しても、意見対応に関しては基本的に意見者の意見通りに修正するものであり、新旧対比表の修正が終了していない部分は、修正の後、主査に送付することとした。ただし、意見対応表（資料108-9-1）のNo.3において意見者の『意見No.141反映のP.20の100.2項「圧延管」の修正箇所が、「2つの」「相對する」「ロールの間を」がそれぞれ重複してしまっています。元の小生修正案も良く見返すと、最初の「直径の」が何の直径かが分かりにくかったので、再度以下の修正を提案します。「管の直径方向の反対側に相對するように置かれた2つのロールの間を円錐状のマンドレルで貫通させた鍛造ピレットから作られた管。」』との意見に対し、意見者には意見の通りに修正するとして了解を得ているが、「『反対側』と『相對する』とで重複が残っていると考えられる。」との意見があり、『反対側』を削除することで再度修正を行うこ

とした。

(4) その他

西野委員より、V章の今回の意見対応とは関係の無い箇所において修正すべき点を3点確認したとのコメントがあり、飯田主査に内容をメール送付し対応を考えることとした。

5. 次回開催予定

開催日時： 2020 年 9 月 3 日（木） 13 時 30 分～17 時

開催方法： WEB 会議（Webex）による

以 上